

情報ステーション 第15期・2018年度 事業計画（案）

0. 概要と組織

「そこに住む人々が、自分の街に対して誇りと愛着を持ち、風土や歴史を元に、文化の創造と経済の自立を目指し続けること」と定義したまちづくりに資する事業に取り組み、多世代交流が自然と生まれる活動を広げてまいります。

- ・コーポレートサイトのリニューアル
- ・正会員数120名の達成
- ・正会員オンライン入会の実施
- ・法人会員10社の達成
- ・会員のバリエーション増加の検討

0-1. 理事会

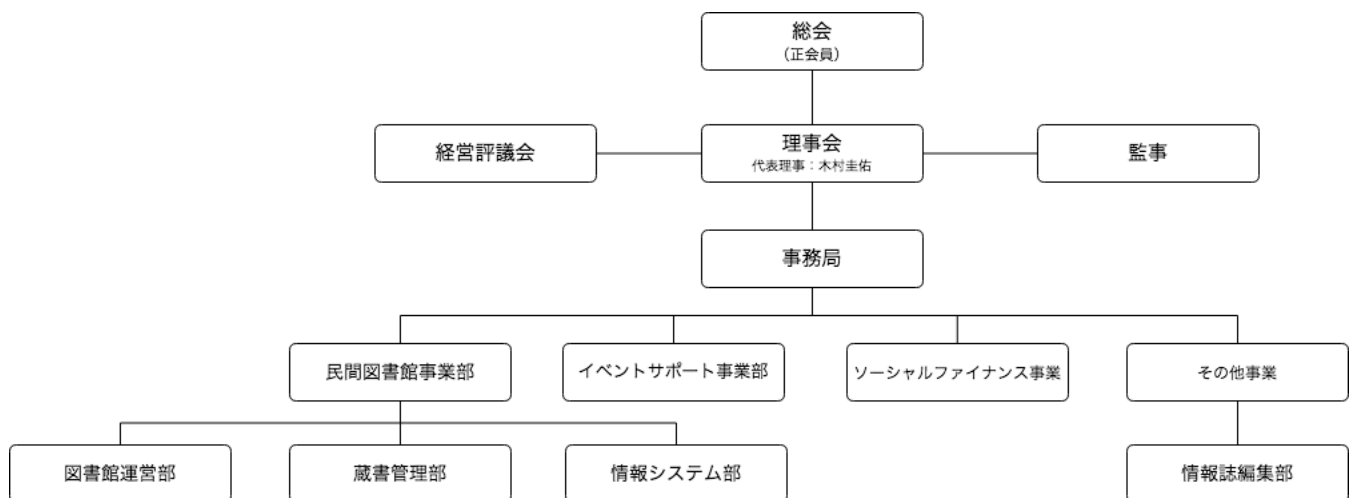
幅広く活動の趣旨を伝え正会員の増強に取り組むと共に、約3分の1の理事を新任し、開かれたガバナンスを目指します。

0-2. 経営評議会

理事及び監事経験者を中心として組織する経営評議会においては、年4回の会議にて中長期にわたる情報ステーションの事業発展を確認するとともに理事及び事務局の活動を支援し、NPOのステークホルダーである地域社会を構成する多様な方々に対し、活動への参加・参画を促します。

特に15期においては、定款や規約等の規定の整備と、理事候補者の発掘を重点事項とします。

【組織図】



【会議体】

会議名	参加者	頻度
総会	正会員、理事、監事	年1回
理事会	理事、監事	月1回
経営評議会	評議員、代表理事、副代表理事	年4回程度

0-2. 財務

継続的・安定的に理念を実現するために、理事会で予算管理を行います。

0-2-1. 助成金

より広い活動を行うために、理念に即した助成金への応募を行います。

1. 民間図書館事業

民間図書館事業では、地域の交流空間というコンセプトを実現するため、地域の方とのつながりを増やし、またボランティアなどに関わってくれる方々の更なる活動への参加促進を目指します。

その為に、図書館数をはじめ、ボランティア、寄贈本、利用者などを全体的に増やすと共に、その実現のために日々の業務フローを確立させます。

1-1. 図書館運営部

民間図書館事業図書館運営部は、ボランティアのみで運営する既存館のマネージメント、既存協働館の本棚の管理、新規図書館の開設を担当します。

- 図書館を延べ120館に増やす
 - ✓ Webからの問合せ件数月間10件
 - ✓ 交流会等への参加（登壇）で、年間30回のPR活動を行う
 - ✓ クラウドファンディングを利用した図書館開設フローの確立
- 民間図書館の価値を再定義する
- 空き家を活用した図書館モデルを作る
- 既存協働館の本棚の管理専任職員の採用と体制の構築

1-2. 蔵書管理部

民間図書館事業蔵書管理部は、本の寄贈から登録・配架・移送・除籍・販売など蔵書流通のすべてを担当します。本の流通サイクルを常に動かせるようにします。

またこの過程においては、ボランティアDAYの開催スキームを確立し、より多くのボランティア参加を促すとともに、寄贈本増加による支援者拡大に取り組み、みんなで作る図書館を体現します。

- 年間新規蔵書登録数1万5千冊
- ボランティアDAYの週2回ペース開催を継続
- 助成金などの活用を通して蔵書基地開設の検討
- 書店、図書館、新聞社等との連携による寄贈本の強化
- 棚卸しの実施
- 古本市のパッケージ化

1-3. 情報システム部

民間図書館事業情報システム部では、蔵書管理システム及び店頭端末、またこれらの通信ネットワーク、蔵書検索サイト「図書館生活」などの開発・管理とこれらが持つ情報管理すべてを担当します。

1-3-1. 蔵書管理システム

蔵書管理システムでは、ボランティア用アプリとセルフ貸出しシステムの更なる改善を進めます。また、各種データ入力の補助機能を向上し、データの量と質を増やし、図書館の利用を促進する配架に活用します。

- システムリニューアルの検討
- 書誌データ（MARC）の整備
- モバイルアプリの実装
- 新規開館図書館の蔵書選定(蔵書最適化)システムのプロトタイプ実装

1-3-2. 蔵書検索サイト「図書館生活」

図書館生活では「図書館をもっとたのしく便利に」の趣旨を実現するため、従来の蔵書検索機能の他に、図書館の情報発信機能を強化しコンテンツを増やす事により、各図書館の楽しさ・魅力が多くの人に伝わるようなサイト作りを目指します。

- 民間図書館の価値の再定義と合わせてサイトのコンセプトやターゲットの再定義
- サイトのリニューアル

2. イベントサポート事業

イベントサポート事業では、地域のおまつりやイベント等の広報や事務局サポート、会場提供、ボランティアによる開催当日の運営支援などを担当します。

- 会場貸出売上月間 10 万円達成
- 情報発信支援部設立の検討

3. ソーシャルファイナンス事業

地域経済の循環促進を目的とし、地域に特化したクラウドファンディングサイト「FAAVO千葉」の運営を引き続き行います。

- 運営パートナー数を 10 に増やす
- 年間プロジェクト達成金額 1000 万円
- 起案相談会を年 6 回開催
- 他媒体との連携強化

4. その他の事業

先の3事業と団体主旨の普及啓発を目的とし、日常的な広報活動を行います。

4-1. 情報紙編集部「季刊 情報ステーション」

フリーペーパーの発行部数を増やし、民間図書館のほか県内公立図書館や社会教育施設等での配布を行い、一人でも多くの方に情報ステーションの事業や様々なまちづくりの活動を知ってもらい、地域社会における多世代交流の重要性とまちづくりへの主体的な参加を促します。

また今期4回の発行の中で、協賛広告やクラウドファンディングによる収入を増やし、継続的に発行を続けられる体制を目指します。

- 10月秋月号、1月新春号、4月春風号、7月初夏号の4号で延べ3万部の配布を行う。
- 広告やクラウドファンディングの収入で各号の製作費を捻出し、初夏号では赤字をなくす。